



『QCサークル』誌 2025年5月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

p.2～

TOTO プラテクノ(株) 代表取締役社長 阿部 剛士さん

Q-Up 活動 (QC サークル活動) は現場のみなさんが中心になって仲間同士で業務に関して真剣に考えることができる場ですが、それを会社として求めるばかりではいけません。現場に近い私たちや間接部門が彼らの仕事や活動がやりやすくなるように、しっかりと会話をして支えていかなければいけない。そういう体制で、全社員と一緒に取り組んでいきたいと思っています。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.5～

マツダ(株) 防府工場

自動車メーカー・マツダでの QC サークル活動は 60 年以上にわたっています。同社では品質方針の基本的な考え方「あらゆる提供物の質」を高めていくことを重視しており、同社のサークル活動は Matsuda Quality の頭文字から「MQ サークル活動」と同社で呼ばれており大きな生産拠点である防府工場でも意欲的な活動が根づいています。活動のキーマンとサークルヘイタニューを行い、サークル活動の活性化に向けた取り組みや仕掛け、活動の考え方、進め方をお聞きました。

★特集：サークル活動の喜びや失敗の体験を次に活かす ～やりがいを感じた、気がめいった、その経緯、聞かせてください～

p.9～ (サークルリーダー、管理者／事務局、その他)

サークル活動で目標を達成した時には喜びがあり、それが次への原動力となりますが、失敗したときには辛い気持ちになってしまいます。しかし、失敗から何かを学ぶことが大切で、そのプロセスが財産となります。今回の特集では、うまくいった経験、うまくいかなかった経験をその後の活動に活かした事例を紹介します。QC サークル側、推進者側のそれぞれの立場での経験を取り上げていますので、みなさんに気づきを与え、役立てていただけることを期待しています。

★サークルQ&A ただいま出勤 QCサークル119番～あなたの困りごとに寄り添います～

p.26～

カルテ 190

今回は、業務が増えて残業が常態化し、QC サークル活動の時間がとれないというお悩みです。6 コママンガとともに編集委員がアドバイスします。

★推進者のページ：こんな推進者になりたい ～役割とその責任を理解し実践する～

p.28 (管理者／事務局、運営／推進)

第5回 事務局は、管理者が知らないサークルの悩みを掴むことができる

本ページでは、今まで一括りにして解説することが多かった「推進者」を、「トップ」、「管理者」、「推進事務局」に分けて、その役割と責任について考えていきます。本号では、サークルの頼りになる推進事務局となるにはどうしたらよいか、みなさんと一緒に考えてみましょう。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例 2 件を紹介します。

体験事例： p.36～

1. (サークル、製造、改善)

トヨタ紡織滋賀(株) 「令和の侍サークル」

「CHC ラインガasket 落下不良の撲滅 ～もったいない停止に取り組んだ生産性向上～」

2. (サークル、製造、改善)

トヨタ自動車(株)東富士研究所 「バンギャップサークル」

「太陽電池 評価用 ガラス基板 洗浄・乾燥作業の効率化」

★運営のページ QC サークル活動運営の基本を学ぶ ー運営の工夫で楽しく活動してみませんかー

P.46 (サークル、運営／推進)

第5回 勉強会に関する工夫

本ページは、『QC サークル活動運営の基本』QC サークル本部編に書かれているような基本的な事項の一つひとつ取り上げて解説します。活動を始めたばかりのサークル、活動経験はあるものの疑問や不安を感じているサークルなどに、運営について体系的に学んでもらうこと

がねらいです。今月は、全員が互いに先生と生徒の役割に立って能力を高めていく勉強会の工夫について紹介します。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.48 (医療・福祉)

医療福祉法人南風会 シャロームみなみ風「たんぽぽファイブサークル」

サークルに改善の背景や内容を、推進者にはサークルの育成方法について紹介いただくページです。今月は、職員が利用者を認知を上げる取り組みを行うなど環境を整え、職員同士の学び合いにつなげたことで施設の雰囲気をも明るく変化させ、施設利用者の満足度を向上させたサークルの事例を取り上げます。

★QC検定道場

P.50～ (サークル、一般者(標準))

第5回 QC 七つ道具② (特性要因図とチェックシート)

今月号は、特性要因図とチェックシートについて、過去に出題された問題から解説していきます。いずれも検定受検には重要な内容ですので、しっかり知識を身につけていきましょう。

★連載講座：データのとり方・使い方・まとめ方

p.58 (サークル、一般者(標準))

第5回 分布を可視化する：ヒストグラムと散布図の使い方

計数値データをグラフ化して表示してみると、まとめたデータには違いがあります、その違いを数値で表す方法が基本統計量です。基本統計量を利用して数値化すると、QC サークル活動での目標値を設定することができます。5月号では、データの平均値やばらつきといった分布の状況を可視化するためのツールである、ヒストグラムと散布図を解説します。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページ http://www.juse.or.jp/qc_circle/をご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail : editoqcc@juse.or.jp

